

牛久：学校周辺に見る自然

第6号 ひたち野西近隣公園、銚子市君ヶ浜

2015年1月15日発行

＜ 年末年始に見た青い鳥、ほか ＞

皆さま、明けましておめでとうございます。いつも海からの日の出の写真で新年を迎えていましたが、今年は一厚い雲におおわれてきれいな初日の出がおがめませんでしたので、年末年始に見た青い鳥の写真でスタートしたいと思います。



カワセミのオス(左：2014.12.24)とメス(右：2014.1.27)、ともにみずべ公園で。

上は、この『学校周辺の自然』でもおなじみのカワセミ。昨年は忙しかったこともあってあまり歩けませんでした。左の写真はいつものみずべ公園（ひたち野西近隣公園）で12/24に写しました。カメラに気づくとパッと逃げてしまいましたが、だいたいいつもいる場所が決まっているので見つけやすいです。メスは右の写真のように下のくちばしが赤いので、オスと区別できます。頭と背中ではどちらも青いですが、青い色素をもつのは羽の先端部だけ。なのに見る角度によって青く輝いたり、緑がかって見えたりします。タマムシがきれいに輝いて見えるのも同様で、「構造色」といいます。



その名の通り、磯を歩くイソヒヨドリのオス(2014.1.2 銚子市君ヶ浜)。メスは茶色っぽく目立たない。

こちらは、イソヒヨドリ。特に珍しい鳥ではないようですが、私は初めて見ました。いままでは、いても気がつかなかっただけかもしれませんね。オスは鮮やかですが、メスは茶色っぽく目立ちません。「青い鳥」というと幸せの象徴のように言われますが、はたしてどうでしょうか？ 世界中のすべての人が幸せになる時代が来ることを願っています。

【理科支援員：宮内】